



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社

コード番号 4559 URL <http://www.zeria.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO

(氏名) 伊部 充弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役広報部長

(氏名) 森山 茂

TEL 03-3661-1039

四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	45,782	△2.1	3,340	△44.0	3,333	△45.1	3,160	△30.9
26年3月期第3四半期	46,773	16.1	5,965	71.3	6,068	65.2	4,571	39.5

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 2,679百万円 (△61.4%) 26年3月期第3四半期 6,941百万円 (83.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	59.50	—
26年3月期第3四半期	100.53	—

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を実施しております。そのため、1株当たり四半期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
27年3月期第3四半期	94,436		60,580	64.2			1,140.54	
26年3月期	99,493		58,734	59.0			1,105.78	

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 60,580百万円 26年3月期 58,734百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	14.00	—	15.00	—
27年3月期	—	15.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を実施しております。なお、平成26年3月期第2四半期末の配当金につきましては、当該株式分割前の実際の金額を記載しております。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	3.2	5,000	△26.4	5,000	△26.5	4,300	△18.5	80.95

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	53,119,190 株	26年3月期	53,119,190 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	3,239 株	26年3月期	2,796 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	53,116,233 株	26年3月期3Q	45,470,229 株

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を実施しております。そのため、上記の株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
5. 補足情報 .....	10
(1) 販売実績 .....	10
(2) 新薬パイプラインの状況 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げ後の個人消費の低迷や一層の円安の進行による輸入物価の上昇などから、先行き不透明な環境下で推移いたしました。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品は、昨年4月に薬価改定が行われるとともに、後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策が強力に推進されており、またOTC医薬品市場におきましても、依然として国内需要の前年割れの状況が続いており、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は、457億82百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。また、利益につきましては、ライセンス及びロイヤリティ収入の減少や、研究開発費や広告宣伝費などの経費が大きく増加したことなどから、営業利益33億40百万円（前年同四半期比44.0%減）、経常利益33億33百万円（前年同四半期比45.1%減）、四半期純利益31億60百万円（前年同四半期比30.9%減）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の海外売上高比率は、15.9%（前連結会計年度13.4%）となっております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## ① 医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール<sup>®</sup>」は、海外におきましてはTillotts Pharma AGの自販体制の強化を通じ、引き続き売上を拡大したものの、国内におきましては、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響を受けました。また、H<sub>2</sub>受容体拮抗剤「アシノン<sup>®</sup>」、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック<sup>®</sup>」などの製品は、昨年4月の薬価改定や後発医薬品の使用促進の影響を受けて苦戦いたしました。機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド<sup>®</sup>錠 100mg」につきましては、早期の市場構築に努めておりますが、その進捗は計画対比では遅れる状況となっております。

これらの結果、当事業の売上高は、249億85百万円（前年同四半期比10.8%減）となりました。

## ② コンシューマーヘルスケア事業

主力製品群である「ヘパリーゼ<sup>®</sup>群」につきましては、テレビCMをはじめ多様なメディアを活用した広告宣伝活動を積極的に展開した結果、製品認知度がさらに向上し、売上を拡大いたしました。なかでもコンビニエンスストア向けの「ヘパリーゼ<sup>®</sup>W群」は、前年度に引き続き売上を大きく拡大しております。「コンドロイチン群」につきましては、医薬品としての有効性、安全性、高品質を訴求し、健康食品との違いを明確にした販売活動を行った結果、順調に売上を拡大いたしました。また、日本で初めて月経前症候群の効能を取得した西洋ハーブ・ダイレクトOTC医薬品「プレフェミン<sup>®</sup>」（要指導医薬品）を昨年9月に発売いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、206億77百万円（前年同四半期比11.1%増）となりました。

## ③ その他

保険代理業・不動産賃貸収入などにより、当事業の売上高は1億19百万円（前年同四半期比14.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は944億36百万円となり、前連結会計年度末対比50億57百万円の減少となりました。その内訳は流動資産が481億65百万円で、前連結会計年度末対比17億37百万円の減少、固定資産が462億71百万円で、前連結会計年度末対比33億20百万円の減少となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の減少46億72百万円、受取手形及び売掛金の増加17億35百万円、商品及び製品等のたな卸資産の増加9億63百万円であります。また、固定資産の増減の主なものは、投資その他の資産の減少25億36百万円あります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は338億55百万円となり、前連結会計年度末対比69億3百万円の減少となりました。その内訳は流動負債が219億17百万円で、前連結会計年度末対比40億35百万円の減少、固定負債が119億37百万円で、前連結会計年度末対比28億68百万円の減少となっております。流動負債の増減の主なものは、支払手形及び買掛金の減少11億42百万円、短期借入金の減少11億78百万円、未払法人税等の減少4億20百万円、賞与引当金の減少13億86百万円あります。また、固定負債の増減の主なものは、長期借入金の減少25億66百万円あります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は605億80百万円となり、前連結会計年度末対比18億46百万円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上31億60百万円、前期末及び当中間期の配当の実施15億93百万円、退職給付に関する会計基準等の適用による利益剰余金の増加4億80百万円、為替換算調整勘定の減少3億56百万円等によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ5.2%上昇し、64.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年10月31日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、Tillotts Pharma AB、Tillotts Pharma Ltd、Tillotts Pharma UK Ltd、Tillotts Pharma Czech s.r.o.、Tillotts Pharma Spain S.L.U.、Tillotts Pharma GmbHは重要性が増加したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を反映した単一の割引率を使用する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が7億47百万円増加し、利益剰余金が4億80百万円増加しております。なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,202,305	17,529,905
受取手形及び売掛金	15,484,792	17,220,506
商品及び製品	3,771,759	4,640,557
仕掛品	1,163,242	1,291,604
原材料及び貯蔵品	2,798,875	2,765,663
その他	4,491,672	4,729,481
貸倒引当金	△10,391	△12,618
流動資産合計	49,902,257	48,165,100
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,037,045	6,812,905
土地	11,578,907	11,576,971
その他（純額）	3,336,905	3,640,435
有形固定資産合計	21,952,858	22,030,313
無形固定資産		
のれん	12,240,878	11,522,631
その他	1,010,102	866,569
無形固定資産合計	13,250,980	12,389,200
投資その他の資産		
投資有価証券	10,544,540	7,554,958
退職給付に係る資産	2,023,268	2,902,741
その他	1,867,929	1,440,951
貸倒引当金	△47,969	△47,145
投資その他の資産合計	14,387,768	11,851,506
固定資産合計	49,591,607	46,271,019
資産合計	99,493,864	94,436,120
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,718,208	2,575,490
短期借入金	12,593,804	11,415,212
未払法人税等	1,899,452	1,479,214
賞与引当金	1,906,693	520,177
返品調整引当金	110,726	128,559
売上割戻引当金	188,133	187,722
その他	5,536,037	5,611,573
流動負債合計	25,953,055	21,917,949
固定負債		
長期借入金	13,867,486	11,300,600
退職給付に係る負債	154,140	162,762
資産除去債務	73,705	74,212
その他	710,679	399,674
固定負債合計	14,806,011	11,937,249
負債合計	40,759,066	33,855,199

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	12,716,418	12,716,418
利益剰余金	34,717,906	36,994,587
自己株式	△2,679	△3,669
株主資本合計	54,025,044	56,300,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,307,527	1,157,519
為替換算調整勘定	3,533,211	3,176,619
退職給付に係る調整累計額	△130,984	△53,952
その他の包括利益累計額合計	4,709,754	4,280,186
純資産合計	58,734,798	60,580,921
負債純資産合計	99,493,864	94,436,120

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	46,773,373	45,782,474
売上原価	13,477,776	13,922,330
売上総利益	33,295,596	31,860,144
返品調整引当金戻入額	105,777	110,726
返品調整引当金繰入額	150,157	128,559
差引売上総利益	33,251,216	31,842,310
販売費及び一般管理費	27,285,339	28,502,003
営業利益	5,965,876	3,340,307
営業外収益		
受取利息	11,079	14,025
受取配当金	221,417	192,339
その他	109,551	84,133
営業外収益合計	342,048	290,497
営業外費用		
支払利息	182,982	159,193
為替差損	—	110,150
その他	56,667	28,128
営業外費用合計	239,649	297,472
経常利益	6,068,275	3,333,333
特別利益		
固定資産売却益	84,820	—
投資有価証券売却益	523,286	1,388,513
特別利益合計	608,107	1,388,513
特別損失		
固定資産除却損	51	14,173
買収調査費用	—	95,574
特別損失合計	51	109,747
税金等調整前四半期純利益	6,676,331	4,612,098
法人税等	2,107,909	1,451,938
少数株主損益調整前四半期純利益	4,568,422	3,160,160
少数株主損失(△)	△2,660	—
四半期純利益	4,571,082	3,160,160



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,568,422	3,160,160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	823,288	△150,007
為替換算調整勘定	1,550,247	△407,386
退職給付に係る調整額	—	77,032
その他の包括利益合計	2,373,536	△480,362
四半期包括利益	6,941,958	2,679,798
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,918,331	2,679,798
少数株主に係る四半期包括利益	23,626	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,025,129	18,607,826	46,632,955	140,417	46,773,373	—	46,773,373
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	164	164	363,985	364,149	△364,149	—
計	28,025,129	18,607,990	46,633,119	504,403	47,137,522	△364,149	46,773,373
セグメント利益	6,295,714	3,465,834	9,761,549	116,825	9,878,374	△3,912,497	5,965,876

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,912,497千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,985,839	20,677,180	45,663,020	119,454	45,782,474	—	45,782,474
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	128	128	398,683	398,812	△398,812	—
計	24,985,839	20,677,309	45,663,149	518,137	46,181,286	△398,812	45,782,474
セグメント利益	2,678,063	4,293,662	6,971,725	185,303	7,157,029	△3,816,721	3,340,307

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,816,721千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 5. 補足情報

## (1) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	24,985,839	△10.8
コンシューマーヘルスケア事業	20,677,180	11.1
報告セグメント計	45,663,020	△2.1
その他	119,454	△14.9
合計	45,782,474	△2.1

(注) 1.セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2.金額は消費税等抜きで表示しております。

(2) 新薬パイプラインの状況

I 国内開発状況

1) 消化器系分野

(平成27年2月5日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ終了	Z-103/ ポラプレジンク	自社	味覚障害 プロマック®効能追加	亜鉛補充	導入品
フェーズⅢ	Z-206/ メサラジン	共同開発 (協和発酵キリン)	潰瘍性大腸炎 アサコール®用法用量 追加	pH依存型放出調整剤	自社(Gr)品
フェーズⅡ	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK <sub>2</sub> 受容体拮抗作用	自社品 アジア共同治験
臨床準備中	Z-215	自社	酸分泌関連疾患	長時間作用型 プロトンポンプ阻害剤	導入品

2) その他の分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品 アジア共同治験
フェーズⅠb	Z-213/ Ferric carboxymaltose	自社	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品

II 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
承認申請中 (中国)	Z-206/ メサラジン	共同開発 (Tillotts Pharma AG)	潰瘍性大腸炎 アサコール®	pH依存型放出調整剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ (欧州)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ (アジア)	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅡ終了 (北米)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ (アジア)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK <sub>2</sub> 受容体拮抗作用	自社品

自社(Gr)品：自社グループオリジナル品